

## 会議録

|     |                                                      |
|-----|------------------------------------------------------|
| 会議名 | 第24回 海津市地域公共交通会議                                     |
| 日時  | 令和3年1月15日（金） 9：30～10：15                              |
| 場所  | 海津総合福祉会館「ひまわり」 研修室2                                  |
| 出席者 | 委員19名 事務局4名                                          |
| 傍聴人 | なし                                                   |
| 議題等 | 議題1 バス停の移設について<br>議題2 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について<br>その他 |

### 協議事項

#### 【議題1】 バス停の移設について

事務局から説明（資料1に基づき説明）

- ・資料1 バス停の移設について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答、⇒他委員回答）

- ・バス停の移設を事前に決議する必要があるのか。事後承認でもよいのではないかと。  
→バス停の移設については、地域公共交通会議の承認が必要となる。

○原案のとおり承認

#### 【議題2】 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

事務局から説明（資料2に基づき説明）

- ・資料2 令和2年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

- ・事業評価の資料についての異論はない。10月にデマンド交通の運賃制度を改定した結果についての評価がないことに疑問を感じる。

→デマンド交通の運賃制度は10月1日に改定し、現在3ヶ月経過したところであり、データの蓄積が少ないため、運賃見直しについての評価は次回の会議でお知らせしたいと考えている。

- ・短期間であっても、デマンド交通の利用が変化したかどうかは分かるのではないかと。  
→デマンド交通は10～12月の利用者は若干減少している一方で、収益についてはパスポートがなくなり回数券になったため維持している状況にある。

- ・配布資料には、「住民と協働」という文言が多く入っている。利用者の意見を施策に取り入れやすくするために、バス停に意見回収箱を設置するとよいのではないかと。また、自治会長が住民意見集約する仕組みがあるとよいのではないかと。ぜひ住民が自由に意見できる仕組みを考

えてほしい。当会議の出席者はそれぞれが担っている役職に基づいて参加されているため、市民の意見も吸い上げられるとよい。

デマンド交通の運賃制度の改定について、利用者数が減少した一方で値上げにより収入は維持されたとのことだが、本来の目的は利用の平準化であったと認識している。利用は平準化できたのか。

→計画の推進については、ご意見のとおりと認識している。

利用者数が減少した原因については、新型コロナウイルス感染拡大の影響も関連しているため特定には至っていない。今後、データを詳細に収集・分析していく。

○原案のとおり承認

## 5. その他

- ・会議における議論の進め方・あり方について、毎回次第に「その他」が設けられているが、何も聞かれないため質問しにくいと感じる。評価と議論を切り分けてもよいので、しっかり議論ができる場にしたい方がよいのではないかと。今年度は、専門部会が開催されていないが、専門部会や庁内会議の議事録を示し、公共交通会議でもその内容について意見を聞くべきではないかと。来年度は路線の見直しの検討が予定されているが、現状のままでは意見が言えない環境である。特にその点に留意して進めてほしい。

→当会議は、事務局が提示する案について議論や承認をする場である。今後、「その他」での意見聴取や検討経緯・スケジュールを資料に盛り込んだ説明も検討していきたい。

- ・「人間には交通権がある」という話を聞くが、大切なことだと思っている。日本国憲法で保障される生存権に照らした考え方で、この権利を享受するには自治体の力が必要となる。利用がないから廃止にするのではなく、この地域に住んでよかったと思えるような、市民の幸福につながる交通行政に取り組んでほしい。

- ・現在の公募委員の任期が令和3年3月31日で満了となることを説明
- ・海津市地域公共交通会議の委員募集について説明

**閉会**